

アルミ輸出、スクラップ除き減少

二次合金、圧延品ともに生産増加

橋本金属
・アルミ 橋本健一郎氏リポート②



橋本健一郎氏

四月前半は、中国政府発表の三月中国製造業PMIは五一・八で予想の五一・六も上回る二〇一二年四月以来、五年ぶりの高

水準。三月の非製造業PMIは五五・一に上昇二〇一四年五月以来の高水準だった事、米週間新規失業保険申請件数は二三・四万件に減少、予想の二四・五万件を下回るなどのプラス材料もあったが、米中会談中に米がシリアにトマホーク六〇発を打ち込んだこと、それを中国が黙認した事、アフガニスタンに非核兵器では史上最大の爆弾とされる大規模爆風爆弾(GBU-四三/B Massive Ordnance Air Blast)、通称「MOAB(モアブ)」を、アフガニスタンのイスラム過激派組織「イスラム国(IS)」施設に対し投下したこと、三月の米自動車販売台数は年率一、六六二万台。予想の一、七三〇万台を下回ったことなどを嫌気しLMEアルミ相場はDOWN、四月十五日時点で一、八九八ドル(現物後場買い)と月初価格から五五ドルDOWNの前半締めとなった。

後半は大気汚染対策で中国政府が石炭使用の規制に乗りだし、今冬の中国のアルミ生産は三〇％減少と予想されていること、トランプ米大統領は二十六日に税制改革案を公表する見通し。法人税率を現状の三五％から一五％に引き下げる方針を明言したことなどのプラス材料もあったが、韓国の大統領選挙で革新系「共に民主党」の文在寅氏が当選した事、米利上げ懸念、北朝鮮リスク、英国の解散総選挙、中国の不動産投資抑制策などを嫌気しLMEアルミ相場はDOWN、五月十日現在でLME(現物後場)一、八七〇・五ドルと後半スタート価格から二〇ドルDOWNしてのスタートとなった。

◆月間のドル/円レート(TTS)
一一・二三五→一一・二五〇(円)。

◆自動車生産台数

日本自動車工業会によると、自動車生産台数は前年比四・七％増の九三万、一三七台であった。

◆自動車販売台数

日本自動車販売協会連合会によると、自動車販売台数(軽除く)は前年比五・四％増の二二万四、二二〇台。

◆新設住宅着工戸数
国土交通省統計によると、新設住宅着工戸数は前年比〇・二％増の七万五、八八七戸であった。

◆貿易関連指標

輸出
財務省貿易統計によれば、輸出はアルミ新地金が前年比五五・七％減の五八八、二次合金が四・八％減の二、〇二二t、スクラップが六・八％増の九、三三八t、アルミ缶が三・一％減の五、六二七t。

輸入

アルミ輸入は新地金が前年比四一・六％増の一三万三、六九九t、二次合金が二〇・四％増の一・二万〇、〇六二t、スクラップが五五・四％増の六九〇t、合金スクラップは四〇・一％増の四、四二四t。

■前月の国内指標

日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば、板類・押出生産合計は前年比五・三％増の一八万四、三三九t。

日本アルミニウム合金協会発表のアルミニウム二次合金・同合金地金等生産実績は、前年比五・二％増の七万〇、三六九tであった。

■概況

【自動車生産】
三月の四輪車生産台数は九三万、一三七台で、前年同月比四・七％増となり六カ月連続前年同月を上回った。

輸出は四一、九、五四六台で前年同月比三・八％の増加。

【自動車販売】

四月の国内自動車販売台数(軽除く)は二万四、二二〇台で、前年比五・四％増。

九カ月連続プラス。このうち、乗用車六・一％増、貨物〇・五％増、バス六・九％増。

【住宅着工数】

・平成二九年三月の住宅着工戸数は七万五、八八七戸で、前年同月比で〇・二％増となった。また、季節調整済年率換算値では九・八・四万戸(前月比四・七％増)となった。

・住宅着工の動向については、前年同月比で先月の減少から再びの増加となっており、利用関係別にみると、前年同月比で貸家は増、持家、分譲住宅は減となった。

・引き続き、今後の動向をしつかりと注視していく必要がある。(六面へ続く)

(四面より続く)

(持家)

前年同月比では先月の増加から再びの減少
(前年同月比三・六%減、季節調整値の前月比
では二・四%減)。

(貸家)

前年同月比では一七カ月連続の増加(前年
同月比一・〇%増、季節調整値の前月比で
は二・五%増)

(分譲住宅)

前年同月比では二カ月連続の減少(前年同
月比一〇・八%減、季節調整値の前月比では
一七・七%増)。

・分譲マンション

前年同月比では二カ月連続の減少(前年同
月比二四・三%減)。

・分譲一戸建住宅

前年同月比では一七カ月連続の増加(前年
同月比三・四%増)。

【アルミニウム二次合金・同合金地金等生産
実績】

生産は前年比五・二%増の七万〇、三六九
tと、五カ月連続プラス。出荷は三・九%増
の七万二、二一三tと、二カ月連続プラス。
このうち、出荷先別では鋳物四・五%増、ダ
イカスト四・三%増、板一・二%減、押出二〇・
四%増、鉄鋼一・二%減、合金地金メーカ一
五・九%減、輸出は〇。

【アルミ圧延・押出品生産】

日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産
出荷動向によれば、板類・押出生産合計は前
年比五・三%増の一八万四、三六九tと五カ
月連続プラス。

板類は生産が五カ月連続でプラス、出荷は
一カ月ぶりにプラス。押出類は生産・出荷と
もに五カ月連続でプラス。

【輸出】アルミ新地金が前年比五五・七%
減の五八t、二次合金が四・八%減の二、〇
二二t、スクラップが六・八%増の九、三二
八t、アルミ缶が三・一%減の五、六二七t。
【輸入】アルミ新地金が前年比四一・六%
増の一三万三、六九九t、二次合金が二〇・
四%増の一萬〇、〇六二t、スクラップが
五五・四%増の六九〇t、合金スクラップが
四〇・一%増の四、四二四t。

【見通し】

・自動車は生産が四・七%増。国内販売台
数が前年比五・四%増。生産が六カ月連続プ
ラス、販売も九カ月連続プラス。

生産、販売共に増加しており今後の動向に
注目

・住宅着工の動向については、前年同月
比で微増となっており、下げ止まり傾向か
どうか、今後の動向に注目。

・アルミニウム二次合金・同合金地金等生
産実績は、生産が五カ月連続増、出荷が二カ
月連続プラス。

・輸出 新年度入りと住宅、自動車の好調
を受けて一部を除き減少。

・輸入 自動車の好調をうけて全品種増
加。

【スクラップ需給予想】

流通在庫は少ないながらもGW休暇要因
で、すでにできており市中玉はすくない
のではないかと。

【価格・為替予想】

今月は韓国大統領の対北朝鮮対策と中国
経済、環境問題の動向に左右される。

当選した韓国大統領の文氏は対北朝鮮政策
において融和のスタンスは支持しており、
これが米国を中心とした国際社会の強硬姿
勢と違いがあるのか？現状のままなのか？
に注目。

中国経済、環境問題に関しては、鉄、銅、
アルミなのでこれまでにない環境規制が敷
かれ、生産活動に弊害がでている。この厳
しい取り締まりが今後も続くのかどうかに
注目。

それらを踏まえた五月のアルミ価格は、
韓国大統領の文氏が対北朝鮮政策におい
て、今までどおりの米国を中心としたスタ
ンスを指示し、中国の環境規制が多少緩み
企業活動がこれまでとはいかないまでも
動き出した場合、四月一段高値の二、〇〇
〇ドルを予測。いずれかの場合は一、九〇
〇ドル。下値はいずれの条件も達成できな
かった場合四月一段安値の一、八〇〇ド
ル。

為替は、地政学リスクと、米トランプ大統
領の通商政策の進展と為替への言及次第。

それらを踏まえ予測は、北朝鮮問題が再
び緊張し、米国の経済政策が進展しなかつ
た場合、高値は四月後半高値一段高の一〇
九円台(TTM)を予測。いずれも行われな
かった場合、同安値の一、二三元台を予測。

スクラップ購買価格に関しては五円安く
〇円程度と予測している。